

第6回奈良市子ども条例検討委員会の概要

開催日時	平成24年10月26日（金）午前9時から午前11時まで
開催場所	奈良市役所中央棟5階キャンペラの間
議 題	1 アンケート調査について 2 第6回ワークショップについて（成果発表会） 3 今後のスケジュールについて 4 その他
出席者	出席委員5人・事務局17人
開催形態	公開（傍聴人0人）
決定事項	子どもアンケート（案）、大人アンケート（案）について決定。
担当課	子ども未来部子ども政策課
議事の内容	
<p>1 アンケート調査について</p> <p>事務局よりアンケート調査票（案）について説明し、意見を求めた。</p> <p>子どもアンケート、問8の回答方法について、順位付けは難しいという意見が、委員からあり、それに対して別の委員から意見があり、3つまで○をつけるという形になった。</p> <p>問15について、実態を聞くのか、考えを聞くのかどちらなのかという意見があり、子どもは実態や子どもが感じている主観的事実を聞き、親や大人は考えや子ども観を聞くということになった。</p> <p>問11の選択肢について、「準備から参加する」を「話し合いなど準備から参加する」に修正するという意見があり、承認された。</p> <p>事務局から設問数と時間について確認があり、設問数37問程度であれば、30分程度あればできるということを確認した。</p> <p>大人アンケートの問3について、対象とする子どもの年齢はいくつまでにし、また複数の子どものいる場合は1人に絞るかという意見があり、年齢は子どもアンケートに合わせて高校生までとし、子の特定は回答者に任せることになった。また、子の年齢と合わせて、性別を記入してもらうこととなった。</p> <p>問7と問8が一部重なる部分があるという意見と問7の選択肢が否定的なものが多いという意見があり、これに対して、問7は子どもがいない大人には聞いていないので、合わせるべきという意見があり、また問7の選択肢は増やせばよいという意見があった。</p> <p>また子どもアンケートには塾に通う理由を聞く設問がないという意見があったが、これ以上設問は増やせないという意見が出た。</p> <p>今回の意見をアンケートに反映し、手続きを進めることとなった。</p>	
<p>2 第6回ワークショップについて（成果発表会）</p> <p>事務局より第6回ワークショップの開催形式等について説明し、意見を求め</p>	

た。

ワークショップ終了後の振り返りアンケートについて、子どもの意見を大人が聞く仕組みが必要だが子どもにどのような場がよいか書いてもらったかどうかという意見が出た。それに対して、子どもたちの需要を引き出すような具体的な選択肢を検討することとなった。

今回の司会は、ファシリテーターが行うことについて、今後行う予定のシンポジウムでは、子どもの司会進行を希望するという意見が出た。

3 今後のスケジュールについて

ワークショップの中で大きくは大人に子どもの意見を聞いてほしいという意見が出ているので、それを中心に、シンポジウムやフォーラムで再確認しながら、条例の核や魂になる部分を市民と共有し、文言の装飾などを作業的に進めていけばよいという意見が出た。

条例のアウトプットに、コミュニティ単位で子どもの声を聞くなどボトムアップ的なアプローチを地道に行い、条例を子どもがわかりやすいものにするための表現の仕方も考えていくとよいという意見が出た。